

伊東市 八幡野地区協議会 H27. 4. 22開催 WS意見

【1グループ】

分類	意見
誘導	どう誘導するのか
	誘導が難しい
	マイク(スピーカー)が必要
	誘導 自動放送
	火災、屋外につき避難用、案内看板設置場所
パニック	パニック状態の中でどうゆう行動を取るか
	多くの人がいて逃げることができるか
	高いところへ逃げるルートが狭い道で、人が殺到してしまう
避難路	障害物、路上、頭上
	避難通路の確認(安全)
	逃げ道が崩れていないか
	ガケくずれ
避難場所	広い道から逃げる
	高い場所に逃げる
	高いところへ逃げる
	地震発生時は動けないので、地震発生後は海の確認()、その後避難場所(下町マンション)へ移動→分団詰所
	避難タワーがあっても
心配	水路が心配

【2グループ】

分類	意 見
避難行動	安全に行動
	まず地震の揺れについて自信で判断、とにかく自身の身の安全を図る
	鍊度の違い
	車両の移動
避難場所	高い場所
	通常の場合は1～2分で12m以上の高さまでいける
	4分以内で船揚場から大通路を通り20m以上まで到着できる
	近くの旅館の最上階へ
	近くの人に呼び掛け逃げる
観光客対策	観光客への避難の呼びかけ
	大声で避難する場所を告げる
	大声で逃げろと声掛けし高台へ
	第一に即避難、漁港船揚場右側に高台あり(20m)
	イベント会場では津波の避難経路の標示がある。事前に放送で案内します
<small> 三 重 県 民 防 護 課 所 属 課 員 氏 名 </small>	老人対策
	負傷者対策、被害(大)

【3グループ】

分類	意見
人の集中	避難路へ移動する
	避難路に人が集中して逃げれない
	イベント参加者がいっぺんに同一方向に逃げるとパニック状態にならないか
	避難路が狭く危険である
	避難路が狭いため(花火大会のとき)将棋倒しになるおそれがあるので気をつける
避難路が分からない	避難路が分からない、案内図が必要
	以前市役所内で伊東観光客用津波非難マップ制作に参加したが、八幡野地区にも同様のマップを作りたい
高台避難	国道に向かって走る
	高台(安全な場所)へ避難する
	より高い施設へ移動する
	港から高台へ避難する
	マイクで観客に(実行委員として)高台へ逃げるよう案内する
	津波の到達前に崩れていない道をさがし、高台まで逃げる(太陽橋のマンション広場or上町まで)
	まず自分の家がすぐ高い所にあるので、自宅へ急ぎます
	津波をどのように観客に知らせるか、パニックになる
	第1避難場所 ヴェルエール伊豆高原(海拔19m)
	高いところに逃げる
	自分の家の様子を見る
崖崩れ	急傾斜があり崖崩れが考えられる
	土砂崩れがおきないか
	建物が道をふさいでいる
防潮堤	防潮堤の嵩上げと延長
	船揚場の所に波が集中するのでは
	堤防の強度が津波に耐えられるのか
その他	まず頭・体を守りながら地震の揺れの収まるのを待つ
	自宅に戻れたら家族等の安否の確認